



各地区協議会の自立性を醸成し 日常活動から会員同志の交流を深め 潤いのある生活をめざそう！

退
県協
ニュース
第47号
NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144
発行責任者●伏見 吉弘
印刷●陽光社印刷株式会社

年頭挨拶



NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
会長 伏見 吉弘

明けましておめでとうございます。会員・ご家族の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、緊急連絡先把握の取り組みや総選挙等に各地区協会の皆様にご多大なるご支援をいただき心から御礼を申し上げます。

新年を迎えるにあたり所信の一端を申し上げます。

その一つは、今年七月に予定されている参議院議員選挙です。一部には、衆参ダブル選挙の話も出ている状況にあります。私たちにとっては、何を以て「吉川さおり」四選の取り組みです。

総選挙では、立憲民主党大躍進と言われておりますが、そ



「吉川さおり囲む会」で福島と郡山会場にて決意表明

な余裕のある選挙ではありませんでした。自民党のあれだけのスキヤンダルでも政権奪取とはなりません。裏金議員の四割の方が当選しています。私たちの持っている力を存分に発揮し、「吉川さおり」四選を勝ち取らなければなりません。

その二つに、益々高齢化と会員減少となる退職者の会の活動についてです。

毎年四十人前後の会員減少が続いています。現役組合員が五百人を割っている状況では、これからはこのような状況は続いていく前提で考えなければなりません。

歳を取ることは避けられませんが、組織を担っていただく新規会員がいらない中では、役員の高齢化は避けられません。

全体が高齢化する中では、併しても高齢化の地域が広がるだけで問題解決にはなりません。



コロナ・インフルエンザに負けるな！

立憲民主党 参議院議員
(NTT 労組組織内)
吉川 さおり

2025年、新たな年を迎えました。2006年にNTTを退職し、翌年7月の参院選で先輩の皆様をはじめ全国各地の仲間の皆様に参議院に送り出していただき、本当に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は10月初旬まで参議院の運営を担う議院運営委員会筆頭理事も務めており、思うように全国各地にお伺いすることができませんでしたが、その任を石橋議員に引き継ぎ、いまは国会日程の合間を縫って、全国各地で多くの先輩とお会いする機会に恵まれています。

これから始まる通常国会は、今夏の参院選直前の国会となります。これまでお知らせしてきましたNTT法の改正については、私がずっと所属する総務委員会で審議されることとなります。ユニバーサルサービスの在り方等に関する改正内容が予定されており、NTTグループにとって大きな改正となりますので、与野党双方での筆頭理事の経験も活かして対応してまいります。そして年金制度を巡る法案審議も予定されています。社会保障と税の一体改革議論に中心的に携わってきた経験を踏まえ、持続可能な社会保障制度のあり方についてももしっかり議論してまいります。

衆議院では与野党伯仲の議会構成が実現し、政治に緊張感が生まれることとなりました。次は参議院で与野党伯仲の議会構成に近づけることが、政治に緊張感とバランスをもたらす、闊達な議論が国会の場でできることにつながります。

現役組織の状況は非常に厳しく、先輩方のお力なくしては届かない状況ですが、平和で安心して年を重ねていくことのできる社会を、分断を生まない包摂の社会を、公正な社会をつくるべく、精一杯力を尽くしてまいります。

私、吉川さおりは政策の3本柱である社会保障「いきる」、消防防災「まもる」、情報通信「つなぐ」を軸に、初心と感謝の気持ち忘れることなく、精一杯訴えてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

財政や活動内容等々検討すべき課題は多くあります。

今年も、会員が減少していく中で今後の地区協活動をどうしていくのかの議論の出発点の年と位置づけたいと思います。

今後の退職者の会活動は、これまでの活動を前提として組み立てることは難しい場面が多々発生すると思います。

議案書記の「地区協キャラバンのもとめ」を参照頂き、地区協での話し合いを進めて頂きたいと思っております。そして、支部協へ意見提起をお願いしたいと考えています。

最後にありますが、会員・ご家族皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

福島県議会議員
古市 三久
NTT 労組組織重点
立憲民主党
福島県連副代表

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく、お願い申し上げます。

昨年はいわき市議会議員選挙、衆議院選挙においては大変お世話になりました。退職者の会へ支援をいただき「鈴木さおり」、「斎藤ゆうき」候補は厳しい選挙戦を勝ち抜くことができました。衷心より御礼申し上げます。

裏金問題に象徴される「政治と金」を争点にした衆議院選挙は、野党・立憲民主党の躍進により与野党の過半数割れに追い込まれました。長く続いた「一強体制」は民主主義を蹂躪してきました。与野党伯仲は国民本位の民主的な政治への転換が期待されます。

インフレと物価高により賃上げが追い付かなくなっています。格差、貧困が拡大し社会不安が増大しています。

若者の貧困は「闇バイト」に象徴されます。政治に求められているのは、公正な社会経済政策です。「国民の懐を温める政治」の実現です。

昨年の自民党の衆議院選敗北は、国民が石破内閣を信任しなかったということですが、政権交代への橋頭保は確保しました。

今年も、さらにも一歩進める年にしなければなりません。参議院選挙において自民党を過半数割れに追い込むことです。そのためには福島選挙区「石原洋三郎」、比例区組織内候補「吉川さおり」の勝利です。共に頑張りましょう！

今年も「平和と国民生活を守る」ことを第一に活動してまいります。よろしくお祈りいたします。

退職者の会員の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



この一年間にご逝去された会員の御霊に出席者全員で黙とうを捧げました。

議長に郡山地区協高山博会長を選出し、議事を進めました。先ず、伏見吉弘会長から次の通り挨拶がありました。

一、今回代議員数は小規模地区協に多めに、大規模地区協は少なめに設定した。

二、今次衆議院選において、組織内全員当選を勝ち取り、自民党を過半数割れに追い込んだ。



挨拶する伏見会長

**地区協役員の後継者づくりに努め
さらに活気ある活動を進めよう！**

十月二十八日 第二六回福島県支部協議会定期総会開く

だ。来夏は「吉川さおり」の四選を目標として闘う。

三、地区協へのキャンペーンを実施し、成果があった。各地区協は今後も多くの会員の意見を吸い上げて欲しい。

次に、グループ連絡協議会の須田会長から挨拶がありました。

来賓には福島県退職者連合羽田会長、電友会福島支部山田支部長、NTT東日本福島支店大橋支店長等から、組織の現状とお祝いの挨拶がありました。

続いて、組織内議員の古市三久県会議員から、今回の衆議院選の勢いをバネにして「吉川さおり」の当選を勝ち取るうと挨拶がありました。

議事に入り、菅野喜事務局長から、①二〇二三年度経過報告及び②二〇二四年度活動方針(案)③二〇二三年度決算報告及び④二〇二四年度予算

菅野事務局長は「吉川さおり」の当選を勝ち取るうと挨拶がありました。

議事に入り、菅野喜事務局長から、①二〇二三年度経過報告及び②二〇二四年度活動方針(案)③二〇二三年度決算報告及び④二〇二四年度予算



鶴岡亨治さん(相馬)



磯崎セツ子さん(いわき)



山ノ井茂喜さん(郡山)



議案を提案する菅野事務局長

お詫び

NTT労組福島県グループ連絡会NEW'S(2024.10.4発行)の衆議院議員選挙福島県選挙区第3区に「西白河郡、東白川郡」の記載漏れがありました。大変申し訳ございませんでした。訂正してお詫び申し上げます。

最後に伏見会長の音頭で、力強く「団結ガンパロー」を三唱し、新しい年度への誓いを新たにし、来年の選挙に向けて、全体的には、再選されました。

最後に伏見会長の音頭で、力強く「団結ガンパロー」を三唱し、新しい年度への誓いを新たにし、来年の選挙に向けて、全体的には、再選されました。



伏見会長の力強い音頭で「団結ガンパロー」を三唱

◆山ノ井茂喜 (郡山地区協事務局長)

◆磯崎セツ子 (いわき地区協副会長)

◆鶴岡 亨治 (相馬地区協事務局長)

続いて新役員が選出され、会計監査の高橋和子さんが退任され、後任に村田さよ子さんが選出されました。この他の役員については、全て再選されました。

最後に伏見会長の音頭で、力強く「団結ガンパロー」を三唱し、新しい年度への誓いを新たにし、来年の選挙に向けて、全体的には、再選されました。



村田サヨ子新会計監査



吉川さおりさんのビデオメッセージ

(案)が提案され、斎藤幹雄監査報告があり、審議の結果、全会一致で承認されました。

勤続役員表(十年)の方々が永続役員表

岡本あき子

立憲民主党 衆議院議員

NTT 労働組合退職者の会福島県支部協の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には日頃から大きなご支援を賜り、私の政治活動を支えていただきますこと、そして、先の総選挙におきまして念願の小選挙区での勝利を獲得させていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

115,142票という非常に多くの方から支持をいただいたその重さを受け止め、国民のため、有権者・地域のためにしっかりと働いて参ります。

今後も、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

衆議院議員3期目を迎え、国会では衆議院総務委員会理事、予算委員会理事、裁判官訴追委員会委員、党では「次の内閣」復興・福島再生大臣、国会対策委員会副委員長、ジェンダー平等推進本部事務局長など、運営に関わる役割を多く務めることとなりました。

総務委員会は通信事業を所管する委員会です。その理事として、通信事業の適正な監督と管轄を通じて情報社会の発展に貢献することを目指します。また、デジタル時代における公平かつ透明な通信インフラの整備に努め、安心して利用できる環境の構築に力を尽くします。

そして、国会が取り組むべき課題は山積していますが、選挙で訴えたように、能登半島復興支援、物価高対策、可処分所得の増加策など暮らしや職場や地域を支える予算・施策の実現へ取り組みます。『人へ 未来へ まっとうな政治へ』

総選挙の民意の結果、衆議院は与野党伯仲となりました。強行採決や繰り返す答弁でお茶を濁さず、議論を尽くす熟議の国会へと変えていく歩みを一歩ずつ進めます。私も具体的な政策提言と税金等のムダづかい見直しを含めた行政監視の両立に力を尽くします。

皆様とともに、これからも働く者・生活者・納税者の立場で、多様性のある、人にやさしい社会を目指して参ります。

NTT 労働組合退職者の会福島県支部協のますますのご発展と、皆様の今年一年のご多幸を祈念申し上げます。

石橋みちひろ

立憲民主党 参議院議員 (NTT労組組織内)

NTT 労働組合退職者の会・福島県支部協の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中も引き続き、私の政治活動に対し、大きなご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、私の国政活動も15年目に突入り、昨年秋からは、引き続き、参議院立憲民主党の国会対策委員長筆頭代理を務めるとともに、参議院議院運営委員会の野党筆頭理事にも就任し、国会運営全般に責任を持つ立場となって、日々、精進を続けております。

ご存知の通り、昨年10月の解散・総選挙の結果、私たち立憲民主党は50議席増の148議席を獲得し、自民党・公明党の与党を過半数割れに追い込みました。しかしこれは、自公政権の度重なる失政・失態に対する国民の怒りが爆発した結果の勝利であって、必ずしも立憲に対する期待が高まったからではなかったことを、謙虚に受け止めなければなりません。

一方で、この12年間、自民党の一強政治が続き、とんでもない法改正や制度改悪が数の力で強行的に押し進められてきたことを考えれば、今回の結果は「まっとうな政治」を取り戻すための大きな前進であったことは間違いありません。より緊張感のある国会の中で、「人を大事にする政治」の実現に全力を挙げ、来年の参議院選挙での勝利と、その先の政権交代につなげていけるよう、努力していかなければなりません。大事なものはむしろこれからです。

1月から始まる通常国会では、年金制度改革の法案審議も予定されており、医療・介護サービスについても重要な制度改革論議が待ち受けています。私も引き続き、退職者の会の先輩方のご期待にお応え出来るよう、しっかりと頑張っていきますので、今後ともご支援とご指導をどうか宜しくお願いします！

この人にスポット

相馬地区協議会 山田 ^{かつじ} 一二

山田さんは ひょっとして “親善大使”かも



2024年11月21日、鶴岡亨治事務局長が山田さん宅を訪問し、以下の通りインタビューをお願いしました。

【問】現在の年齢をお聞かせください。

【答】今91歳ですが、来年の1月には92歳になります。

【問】体調はいかがですか。

【答】ほぼ良好です。

【問】何か運動をされていますか。

【答】ルームランナーで毎日10分ほど歩いています。

【問】食事はどうされていますか。好きな食べ物は何かですか。

【答】自炊中心で、野菜を摂るようにしています。甘いのに眼が無くチョコレートは大好きです。

……ここから核心に触れてゆきます……

【問】一人ぐらしは何年になりますか。

【答】早めに妻に先立たれ、かれこれ30年になります。

【問】これまでの仕事内容を教えてください。

【答】郵便局勤務の24年で電信、郵便、貯金、保険等をし、電電公社・NTTの16年は営業やテレマ業務を行いました。

《鶴岡から》昭和46年2月郵便局（鹿島）に勤務し、山田さんに郵便やデンプウのイロハを教わりました。

【問】趣味は何でしょうか。

【答】書道や海外旅行です。海外旅行はこれまで年2回の割合で行い、訪問した国は、北欧やアラスカ、モンゴルを含め30カ国になります。

《鶴岡から》さらっとおっしゃる山田さんですが、私には、奥様と一緒にいたら、もっと楽しい思いをしたんだろうなと感じました。

【問】後輩に一言お願いします。

【答】老化は足からきます。ぜひ歩行を交えた運動を行いましょう。

◆◆◆ インタビューを終えて ◆◆◆

気さくにこちらの質問に答えていただきました。インタビューと事前打合せで2回訪問しましたが、玄関前で可愛い子猫の出迎えを受けました。聞けば野良猫との事ですが、玄関先には大袋の猫用餌が置いてありました。山田さんのやさしい一面が見受けられました。

我が家の家族

壺と空

福島地区協議会 渡部 澄子

我が家は、人間5人と2匹のお犬様の7人家族。長男の空（クウ：チワックス10歳）は捨てられた子犬。手のひらに乗るネズミのような茶色の物体だった。

今では、黄金色のシルクのような毛並み。ビー玉のような黒い丸い目。ふさふさとした白い尻っぽ。きりりとした二枚目でかわいい。

二男の壺（イチ：秋田犬3歳）は、長毛種なのでまるでライオンのたて髪のようにふわふわと



し、目はたれ目、鼻は黒くぺっちゃんこの三枚目。家の中をゆさゆさ歩き回っている姿も実にかわいい。大の字になって寝ている姿は、なんとも言えず、かわいい。我が家に笑いとほっこりとした気持ちを与えてくれるとても大切な家族。

かわいいかわいいと育ててきた。でもお金もかかる。それでもずう〜と一緒に暮していく。それが一番の幸福なんだな。

イチが体調をくずして病院へ。急性大腸炎（食べ過ぎによる下痢）。原因はストレスだって。

まもなく、クウも体調悪く病院へ。病名は風邪（寒暖差による環境の変化）だって。

昔から馬鹿と犬は、風邪を引かないと言われていたが、犬だって風邪引くんだね。人もペットも想いは同じ。幸せあれ!!

緊急連絡先追加登録

会員の緊急連絡先の電通共済システムへの追加・変更がある場合は、地区協または支部協へご連絡ください。

山へ登る楽しみ

いわき地区協議会 大倉 智子



今年で72歳になる。今の楽しみは登山である。近くの山、二つ筋山、仏具山、蓬田岳、低山を散策している。去年の夏は、東北の最高峰である燧ヶ岳（2,356M）の山に登った。

富士山より険しく、今までに無い疲労感を味わった。でも、登用したときの気分は最高。今



農業と社会貢献に取り組む

会津地区協議会 湯田 孝義



—今やっていることは—

退職者の役員をはじめ、地域での役職は町農業委員、土地改良役員と気が付いたら、7つの役員をこなし、仕事は水稻11haを次男と2人で耕作しています。水稻は慣行栽培10ha、品種はコシヒカリ、ひとめぼれ、ミルキークイン、縁結び、竜の瞳、ゆうだい21号、あと1haは、オーガニック、有機、無農薬特別栽培米で、3品種を耕作しています。7・7と不思議に重なりました。これも①消費者の方々に先ずは美味しいご飯を食べてほしい、②日本の食糧自給率アップ、③農業の後継者作り、④世のため、人のために役に立ちたい、⑤感謝と皆様（消費者）の協力のおかげ、5つの柱をかげ、日夜奮闘ではなく、年齢を考え、淡々と石橋を叩いて安全第一を優先し、農作業に従事している今日です。

また11月は農作業以外に行事



までの疲れがうそのように吹っ飛んでしまう。何にも耐えがたい喜びだ。だからやめられない。

活動中の婦人会公民館サークル、カーブス（12年）、毎日が楽しい日々である。そしてそれを支えてくれる先生、友達に感謝でいっぱいである。

近くの寺で目にした「難が無いのは無難な人生」「難があるのは有難い人生」。これをモットーに蛇のごとく粘り強く冷静沈着に生きていきたいと思ひます。

が多く、下旬には①国際食味コンクール（食味分析鑑定世界一を決める国際大会）、②お米番づけ日本一を決める大会のノミネートと発表があるからです。喜ばしいことに、今年も3度目の受賞が決まりました。併せて後継者、①田島第2小学校金賞受賞、②同じく農業をしている鈴木さんも1回目の出展で見事受賞、我が家だけでなく2件の受賞者を出した事が、本当にうれしかったです。

—一年男としての抱負は—

①世界平和、戦争のない年、②少子化を突破し、お年寄り安心して暮らせる社会作り、③国民の権利と義務の大切さを真実、誠実、謙虚さを持って考える社会作りの原点から考える3つをモットーに1年間取り組んでいきたい。

—なんと超立派な抱負です。健康に留意して頑張ってください！—



「吉川さおり全国対話活動」 福島・郡山の会員と対話

11月18日（月）吉川さおり全国対話活動が県内2会場で開催され、福島会場には35名、郡山会場には26名が参加しました。吉川さおりさんからNTT株売却益の防衛費への充当、高齢者への医療費3割負担、政治資金等の問題点について話され、改めて考えさせられる内容でした。





地域伝統文化に携わって

三春地区協議会 宗像 好憲



私の地区には約200年前(文政3年)より続く「柳橋歌舞伎」が有ります。この歌舞伎を守るため柳橋歌舞伎保存会があり、柳橋町内会に加入するもの全員が会員になります。平成25年ころより保存会役員となり、歌舞伎の保存活動をしてきました。

柳橋歌舞伎の定期公演は、毎年9月に柳橋歌舞伎伝承館で行われます。地域総出の一大イベントです。6月に実行委員会を立ち上げ、野舞台なので会場周辺の草刈りや駐車場整備、幟・看板の設置、舞台の組み立てと毎週日曜日が大変です。役者・黒子・義太夫・三味線・大道具小道具・着付け・化粧・音響・照明・会場作成等全て地区民の手で作られます。地元中学生も参加し上演しま

す。そのほか東日本大震災に、出張公演で南相馬市や川内村、三春町、東京などでも行ってきました。

活動をしていて感じるのは、この地もご多分に漏れず高齢化が進んでいます。前期高齢者は、まだまだ中心選手です。公演後の満足感充実感を求め、元気なうちは活動していきたいと思っています。

この後は令和7年2月16日に郡山文化センターでの公演があります。皆さん是非観に来てくださいネ!!



空に魅せられて

福島地区協議会 大戸 実



休日を利用し日曜大工で小間物を作っていました。約15年前に手道具と電動工具等の取り扱いを受講する機会を得て、現在ではテーブル、キャビネット、テレビ台、椅子等を製作できるまでになり、少なからず注文も頂くようになりました。また家族のリクエストも欠かせません。

講習会で知り合った異業種の方々は現在でも行き交って親交を深めており、設計時の広葉樹種(檜、栗、柎、栓等)の空目をどの場所に生かすか、完成時の見栄え等の情報交換をしております。

電動工具での使用危険も伴い、気が乗らない時は作業せず納期も気ままであることからマイペース、かつ欲張らないのが今まで続けてこれ

生きがい



た秘訣かと思っています。

現在、箱物以外に広葉樹種を用いた手彫りでのトレイ作りと木工ろくろで Pasta皿、サラダボール、各種お椀等を仕上げに漆を施し(拭き漆工法)家庭での実用食器として製作しています。



今後も体の続く限り緊張感を持ち、気長に木工と付き合っていきたいと思っております。



私とグラウンド・ゴルフの関わり

南相馬地区協議会 岡本 清義

私は、平成18年3月、59歳で現役を引退し自宅のある南相馬市原町区に戻り、いわゆる年金暮らしになりました。数ヶ月後、先輩からグラウンド・ゴルフをやってみないかと誘われ、体験したところ自分も楽しく仲間とのコミュニケーションが取れ、非常に良いスポーツだと思ひ六三会(昭和63年発足)に入会させて頂きました。数ヶ月続けると技術も向上し役員を経験し、3級普及指導員を取得しました。

平成21年総会役員改選にて原町区協会事務局長に就任、同時に南相馬市協会・相馬支部協会の事務局長として会員700人の大所帯を孤軍奮闘の活動でしたが平成24年岩手県盛岡市で2級、その後東京で1級普及指導員資格を取得。その間、東日本大震災に伴う福島第一原発事故が発生し、遠く離れた群馬県片品村へ避難、5月末避難先から自宅に戻り練習を再開すべくグラウンドへ行くかどうか予想もつきませんでした。次の日から雑草取り作業を1ヶ月続け、軽



後列左端が筆者

トラ17台分をグラウンドの隅に穴を掘り埋め、コート整備が完了しました。その後、避難していた会員もだんだん戻り練習が再開できたことを大変喜びました。

令和2年コロナ禍会場確保できず、労働福祉会館駐車場で定期総会を開催、協会長に就任。

令和5年定期総会で再任となり、南相馬市協会及び相馬支部協会の事務局長として活動中です。来年、第37回北海道・東北ブロックグラウンド・ゴルフ交歓大会が福島県郡山市を会場に開催されますので準備会が発足し、役員として参画し大会開催に向け活動中です。



点訳・音訳に取り組む

郡山地区協議会 曲山 和子・曲山 千秋



左が和子さん、右が千秋さん

【千秋さん】

点訳ボランティア。62歳退職後にたまたま福島県広報誌「ゆめだより」を見て「点訳養成講座」を研修。10年以上継続しています。

2年間の自宅での通信講座を中心に研修後、点訳奉仕員として活動しています。

多くの本を読む機会が得られそのことが自分の為になっているなどしみじみと感じられ、点字奉仕を続けられていることが私のやりがい、生きがいです。

【和子さん】

きっかけは会社退職を機に日々の生活に負担感なく、自分も成長でき、長く続けられるものと思案していました。身近な千秋さんが点訳養成講座を受講していました。

これだと思いましたが、アウトドア志向の私には無理と1年間の「音訳講座」を受講しました。60歳で音訳ボランティア養成講座を受講。福島の点字図書館まで、年に20回程度自費で通いながら、基本的な発声・アクセントを集合方式で1年間研修しました。2020年には朗読録音奉仕獎

励賞を受賞し、マンネリになりかけていた私の気持ちの励みになりました。気が付いたらすでに10年間、音訳奉仕員として活動を行っています。

また地域的な取り組みとして、

【千秋さん】

「もくせい」の会」2か月ごとに「青い窓」を点訳・それを印刷・製本、冊子として作成し盲学校に贈っています。

【和子さん】

「くるみ会」(会員20名)で郡山市広報を毎月、議会だよりを四半期ごとに分担して音訳。2~3日で80分の音訳CDを制作しています。さらに、年1回、障がい者とともに腕を組んだり、肩に手をかけたりの「手引き」ボランティアをしながらの「街歩き」を開催。これまでに須賀川、白河、棚倉、三春等の各地で実施しています。

点訳・音訳についての説明

音訳、点訳については、パソコンに音訳・点訳変換ソフトをインストールして自宅録音(入力)を行っています。

点訳入力作業は6点入力です。両手の人差し指①・④と中指②・⑤と薬指③・⑥の6つの点の凸凹で一文字を表します。そのため、一文字ずつ文書を読み換えて点字に変換していきます。

音訳は、アクセントをはじめ、活舌の悪い人・方言はダメ。標準語で艶っぽい小説も、感情を入れずモクモクと読み上げるという共に根気のいる作業です。

古希を迎えて

須賀川地区協議会 尾又 義幸

NTTを退職して7年が過ぎました。退職を機に近くの小学1年生の見守り隊や、地域の交通安全協会へ



加入。町内会の各方部の世話役とボチボチ忙しい毎日を送っています。

勿論、皆さんがご存じの通り、ゴルフはまだまだ現役ですし、

月に4~5回はOBの皆さんや、ゴルフ仲間とコースに出ています。

また、退職間際に覚えた折り紙や、牛乳パックで作るペン立てや小物入れの作成にも力が入っています。

昨年あたりから町内の老人会や婦人会からお呼びがかかり、近くの集会場で皆さんと一緒に立体的な星や六角形のペン立てを作っています。

もう70歳、やりたい



事、やれる事がまだまだ身近にありそうです。妻と子どもに感謝しながら、もう少し頑張ります。



デスクトップ画面の画像募集中

支部協ホームページデスクトップの画面をあなたの作品で飾ってみませんか!